

平成29年奥能登国際芸術祭開催へ

奥能登国際芸術祭の開催に向けて、珠洲市では平成26年2月に市内の経済団体や文化芸術団体等をはじめとする地域の皆様によって「奥能登里山里海国際芸術祭実行委員会」が発足し、平蔵豊志 実行委員長（石川県議会議員）のもと、平成29年秋の開催を目標に準備が進められてきました。

こうした中で、本年3月には一般社団法人地域活性化センターが主催する「第19回ふるさとイベント大賞」に本市の「奥能登珠洲の秋祭り」と「ヨバレ」が最優秀賞を獲得し、更に4月には本市を含む能登3市3町の「能登のキリコ祭り」が文化庁の「日本遺産」に認定されるなど、北陸新幹線の金沢開業とともに、私たちの地域の伝統文化に対しても今、全国から大きな注目が集まっています。

この機運を活かし、「秋祭り」を全国発信の大きなポイントとして捉え、珠洲の美しい里山里海景観に合った芸術作品の製作や展示にとどまらず、市民の皆様や市外からの多くのサポーターの方々とともに国際芸術祭を支える仕組みづくりに取り組んでいくため、本年4月からは市役所内に「奥能登国際芸術祭開催準備室」を新設いたしました。また、去る5月18日には、従来の実行委員会組織の発展的改編を行い、新たに奥能登国際芸術祭実行委員会を立ち上げるなど、開催に向けて一層の推進体制の整備を図ったところで



す。総合ディレクターには、引き続き北川フラム先生をお迎えし、平蔵県議におかれましては、今後も顧問としてご支援願うこととなりました。

本年5月から6月にかけては、北川フラム総合ディレクターによる珠洲市内10地区での住民説明会を行いました。また、この夏には先進地である「大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ」（新潟県十日町市、津南町）へ、市民を中心に参加者総数180名規模の視察を行う予定です。秋には「ヨバレ」を含め、珠洲の秋祭りを体験していただくモニターツアーの実施や、珠洲の魅力を再発見する「ステキ発見事業」を開始いたします。併せて、専用のウェブサイトを設置し、奥能登国際芸術祭の開催にむけて、広くその周知に努めていく予定です。

奥能登国際芸術祭は「日本の祭と食文化の源流を探る」をテーマとしています。珠洲市ではこれまで、本市の強みである「食」を中心に交流人口の拡大と農林水産業の振興を組み合わせる活性化を図ってまいりました。北川先生によると、ア

ーは人を惹き付ける要素であるが、芸術祭の主役は食であるとのことで、珠洲の「食」について非常に高い評価いただいております。芸術祭を機に、「食の珠洲市」を全国に向けて発信し、交流人口の拡大と活性化に向けて勢いをつけてまいりたいと考えております。

珠洲市長 泉谷 満寿裕

こらむ

アイデンティティ 27 能登思慕ーザ・トゥー

重ね重ねてうるおい合わせ技輪島塗

奥能登には掛け替えない誇れる文化がある。それは輪島塗である。子供の頃私の生家にさえ祭りや行事で使う輪島塗御膳などがあり、戦中とはいえ普段でも日常用の丈夫な木目を生かした汁椀が使われていた。

この漆器が生まれるきっかけは、およそ500年前の応永年間に重蓮寺の僧が寺で使う膳椀を作ったのが始まりという。それが今日海外で漆器を「ジャパン」と呼び、漆器と言えば輪島塗がその代表となっている。「うるし」の語源が「うるわし・うるおす」からとするなら、日本的な情操を孕んだ意味のネーミングとしてふさわしい。上品で製錬された時絵、沈金の椀物や重箱などは、実際に手にとった時の軽さと漆のやさしさに包まれる大和の感触である。実に優美で堅牢と言われ世界で評価される質の高い逸品である。

こうした名品は、120回以上の独自の行程を経る緻密な手作業によって創作されるのである。曾て小学校国語教材に採り上げられ、職人達が丹精込めて塗り重ね丁寧に仕上げる技術と作製手順の心ある温もりを紹介するすぐれた説明文が思い出される。

身の回りによく見られたアテ（アスナロ）やケヤキの自然木を素材とし、天然樹脂の漆にこだわって、一個の製品を仕上げるのに塗師、木地師、上塗師が木地→塗り→加飾と大きく5つの分業で7乃至8人の手に渡されて完成品となる。それぞれの塗師衆の技を最大限に引き出すため、手間と時間を惜しみなくつぎ込むのである。例えば、厚手の木地に生漆と米糊を混ぜたもので布を貼って補強し、さらに焼成珪藻土を混ぜた下地を何層にも厚く塗り、幾度も重ね磨き上げ輪島の風土と伝統がいきづいていく。

（押上武文（府中市宝立町出身）

北陸新幹線・ まれ効果は



北陸新幹線金沢開業やNHK朝ドラ「まれ」の効果も気になるところですが、ゴールデンウィーク中の人出が石川県から発表されました。金沢城公園では前年の約2.5倍の15万8千人、兼六園は1.8倍の11万9千人、金沢の主要ホテルの宿泊者は1.2倍の1万8千人でした。珠洲市の奥能登塩田村に37.1%増の2万1千人余、輪島朝市に35.1%増の5万6千人余と盛況で奥能登全体では昨年より3割増の観光客が訪れました。南加賀の温泉地も平均15%増でした。GWの状況で見ても県内各地で新幹線・まれ効果が現れる結果となりました。

ただし、こうした数値に手放しで喜んでいてる状況ではなく、早川和良石川県観光総合プロデューサーが「2015年の成功はJRのお陰であり石川県が試されるのは2016年から。来年以降に我々の実力が問われる。リピーターを増やす。同じ人が何度も来る事が重要。JR+過去の先人の人達が残してくれた遺産のおかげで今がある。来年以降は先人たちの遺産に加えて新しいものを提案していかなければならない。」(6月15日石川県人会理事會講演と指摘する)ように、講じられる地元の新しい観光施策をPRしながら首都圏での誘客推進に協力していく必要があります。

NHK朝ドラ「まれ」高視聴率で順調!

今年3月放送が始まったNHK朝ドラ「まれ」は、能登の風景、祭り、人情、伝統工芸などが随所にちりばめられ、能登の魅力がふんだんに登場するドラマになっており、好評を博しています。



◆まれびと輪島の会 「まれ応援ツアー」で里帰り

6月6日「まれびと輪島の会」が百人を超える陣容で「まれ応援ツアー」で里帰りし、輪島市民祭り・花火大会に参加し華を添えました。

輪島ことばの指導に当たる塩山誠司さんも参加し、すっかり能登ファンになった出演者のエピソードを語りました。

まれ効果で輪島朝市・間垣の里・大沢を訪れる観光客の増加も嬉しい話題になりました。

ドラマの舞台が横浜に移っても能登弁の台詞が続いており親近感が感じられるほか、「地道にコツコツ」の能登の気風がドラマの中でどんな発展になるのか関心が持たれます。



◆塩山誠司さんを囲んで 「まれ応援会」を開催

4月28日東京で能登の祭りをやるう会(八木淳成会長)が池袋・祭一番でNHKラジオ・「午後のマリアー」番組組で太鼓の実況インタビューを受け「日本遺産能登のキリコ祭り」をアピールしました。その後祭りの会員らと、塩山誠司さんを囲んで「まれ応援会」を開催しました。



◆のと里山海道に「まれ」の主題歌が

のと里山海道下り、別所岳サービスエリアの先から穴水方向に自動車のタイヤ音が「まれ」の主題歌を奏でる舗装が施されました。適正速度で安全走行しないと正確なメロディーにならないそうです。車で帰省の際は是非体感してください。

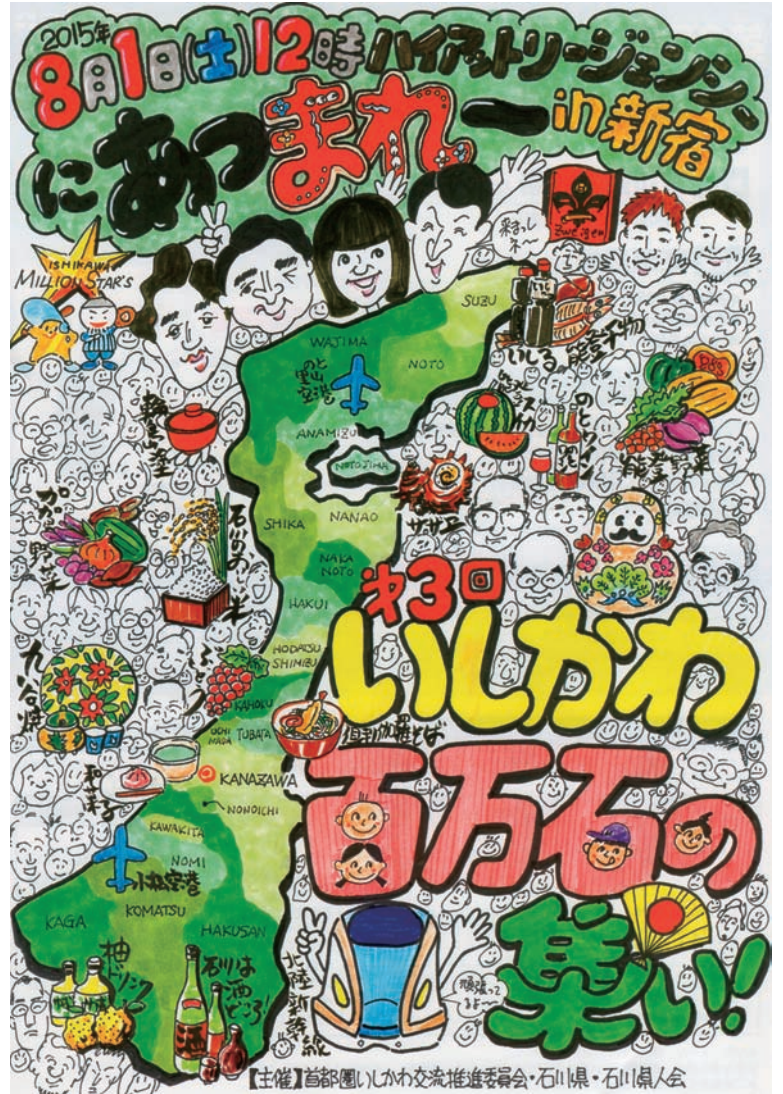
◆のと里山空港ロビーに巨大ケーキ出現!





8月1日(土) 第3回いしかわ百万石の集い!

会費 一般5,000円、大学・高校生3,000円、小・中学生1,500円



首都圏のふるさと行事

- 7月15日~19日
いしかわ移住相談 移住・交流情報ガーデン
- 7月18日
ふる里柳田会総会 品川プリンスホテル
- 7月25・26日
目黒リバーサイドフェスティバル
目黒区田道公園付近
- 8月1日
百万石の集い
ハイアットリージェンシーホテル東京
- 8月1日・2日
能登空港利用促進キャンペーン
品川納涼祭・西大井広場公園
- 8月8日~14日
第2回 いしかわ百万石物語展
そごう大宮店
- 8月10日~9月16日
富山・石川・福井の物産展
東武百貨店船橋店
- 9月17日~23日
(仮)金沢・能登うまいもの市
CELEO八王子店

オーケストラ・アンサンブル金沢& 辻井伸行公演

- 8月25・26日 オーチャードホール
- 9月18日 ミューザ川崎
- 9月21日 東京オペラシティー

- 8月16日正午
飯田高校同窓会総会 珠洲商工会議所

10月23日(金) いしかわ県人祭in東京

新幹線がつなく、ふるさと交流

第8回 いしかわ県人祭 in東京

石川づくし! 1000人の大懇親会

首都圏在住の石川県出身及びゆかりの方々に広くお集まりいただき、懇親を図る場として、当日は多彩なイベントを催します。ご家族、お知り合いの皆様お誘いあわせの上、ふるってご参加下さい。

日時 2015年10月23日(金) 午後6時30分開会

会場 ホテル椿山荘東京 プラザ5F「オリオン」
東京都文京区関口2-10-6 TEL03-3943-1111

会場催し(予定)

- 懇親パーティー
石川の食材を使った料理や地産地消が楽しめます。
- アトラクション
石川県の魅力のアトラクションの会場を盛り上げます。
- お楽しみ抽選会
豪華賞品、抽選会、抽選品、抽選品など石川の産品が当たる抽選会です。
- いしかわ物産市
ふるさと産物が並びます。(午後4時~抽選会)
- お茶席
お茶席(抽選品が当たる)もあります。(午後4時~6時30分)
※無料、昼食300名、午後4時~6時30分

ふるさとの豪華賞品などがご参加の皆さま全員に当たります!!

午後4時から「いしかわ物産市」「お茶席」を開催します。

会場地図

お一人 男性 10,000円 女性 7,000円 学生 3,000円

頑張る奥能登人

一水会委員、日展会友
洋画家
鍵主恭夫さん
(茅ヶ崎市・珠洲市三崎町出身)



6月26日～富士を描く鍵主恭夫展 (有楽町・東京交通会館にて)

- 〈経歴〉 ●昭和24年珠洲市生まれ ●勤労者美術展最高賞 (労働大臣賞)
●日展 (入選33回、特選1回、無審査1回)
●一水会展 (安井奨励賞、一水会賞、会員佳作賞)
●ヨコハマ風景美術祭展 (81特別賞・横浜市長賞、83グランプリ受賞)
●第1回小磯良平大賞展 (佳作賞) など多数受賞

連絡先: 〒253-0035 茅ヶ崎市浜須賀9-62 電話0467-83-1813

◆メッセージ……
珠洲を出て36年、絶えず珠洲のことを想いながら湘南で絵を描き続けました。忍耐強いのが珠洲・奥能登人の魂です。一つのことを大事にしながら「地道にコツコツ」頑張ってきました。珠洲はすばらしいふるさとです。いつまでも珠洲が活気のあるふるさとであることを念じています。

日本橋・京橋祭りに3年連続キリコ祭りが出場決定!

10月25日開催の日本橋・京橋祭りに日本遺産に認定された能登キリコ祭りが出場することになりました。東京で能登の祭りをやろう会・八木淳成会長は「今年はキリコを1基増やして3基で練り歩きたい」と意気込んでいます。その分の担ぎ手を集める算段やキリコの整備を進めています。



6月26日東京で能登の祭りをやろう会「決起懇親会」(屋形船)
お問い合わせ先
祭一番(八木会長) 電話03-3989-1808



平成26年日本橋・京橋祭りに出場した「能登キリコ祭り」

ドキュメンタリー映画「一献の系譜」能登杜氏の営み」東京上映決まる!

「9月26日から新宿武蔵野館」

能登の美酒を生み出す能登の杜氏の技を紹介する石井かほり監督制作のドキュメンタリー映画「一献の系譜」は3月に完成し、珠洲市、能登町、輪島市、金沢市など地元で上映会が行われました。待望の東京上映会の日程が9月26日(土)から新宿武蔵野館(JR新宿駅東口3分)で行われることが決定しました。



事務局から

5月17日小松市木場潟公園で開催された全国植樹祭に東京から石川県人会員25人が出席しました。天皇皇后両陛下のご臨席を仰いでのご荘重かつ盛大な記念式典に一同感慨一入でした。高校生らの集団ダンスや加賀市山代大田楽、七尾市お熊甲祭り、小松市子ども歌舞伎の郷土芸能のアトラクションなどに大きな拍手が送られました。両陛下は記念植樹の際、介添役の緑の少年団員にやさしくお声をかけられていました。大勢の関係者にとっても生涯忘れられない記念行事になりました。

〔東京奥能登応援団〕 代表/光真 章 副代表/下平 康次 事務局長/乙丸 秀次